

令和5年度入学生徒教育課程表

山口県立宇部中央高等学校全日制課程

教科・科目等	類型 年次 学級数	単位制			計
		1	2	3	
		3 (6)	3 (4)	3 (4)	
国語	現代の国語	②			2
	言語文化	②			2
	論理国語		▼2	▼(2・4)	4・6
	文学国語		2	→ 2	4
	古典探究		2	→ 2	4
地理歴史	地理総合	②			2
	地理探究		2	→ 2	4
	歴史総合	②			2
	日本史探究		2	→ 2	4
	世界史探究		2	→ 2	4
	公民		②		2
数学	政治・経済			2	2
	※時事教養			2	2
	数学Ⅰ	③			3
	数学Ⅱ		▼(4・★2)	→ ★2	4
	数学Ⅲ			4	4
	数学A	▼2		2	2・4
	数学B		2	2	2・4
	数学C			2	2
理科	※数学探究			2	2
	物理基礎		②		2
	物理			4	4
	化学基礎	②	2		2・4
	化学			4	4
	生物基礎	②	2		2・4
	生物		2	→ 2・4	4・6
	地学基礎		②		2
	※化学探究			2	2
	※生物探究			2	2
	保健体育	体育	③	→ ③	→ ②
保健		①	→ ①		2
※スポーツ科学Ⅰ				2	2
※レクリエーションスポーツ				2	2

教科・科目等	類型 年次 学級数	単位制			計	
		1	2	3		
		3 (6)	3 (4)	3 (4)		
芸術	音楽Ⅰ		②		2	
	音楽Ⅱ			2	2	
	音楽Ⅲ			2	2	
	美術Ⅰ		②		2	
	美術Ⅱ			2	2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ		③		3
		英語コミュニケーションⅡ			▼4	4
		英語コミュニケーションⅢ			▼4	4
		論理・表現Ⅰ		▼2		2
		論理・表現Ⅱ			2	2
論理・表現Ⅲ				2	2	
※実用英語				2	2	
家庭	家庭基礎		②		2	
情報	情報Ⅰ	②			2	
主として開設される各教科・科目	家庭	保育基礎			2	2
		ファッション造形基礎		2		2
		フードデザイン			2	2
	音楽	音楽理論		2		2
		演奏研究			2	2
美術	絵画			2	2	
	ビジュアルデザイン			2	2	
総合的な探究の時間		①	①	①	3	
自立活動			1	1	2	
日本語指導		1			1	
単位数合計		31	29~32	29~32	89~95	
特別活動	ホームルームの週時数	1	1	1	3	

- 注1 単位制による課程である。1年次は全員を対象に、2・3年次においては希望者を対象に週2日の7限授業を計画している。このことにより、1年次は全員が31単位の履修を、2・3年次においては29単位から32単位の履修を可能としている（LHRは含まない）。単位数合計の欄の29～32は、このことを示す。
- 注2 2・3年次の各科目の単位数の欄の2・4等の表示は、2単位または4単位の講座が開設されることを示す。また、計の欄の4・6等の表示は、3年間の修得単位数の計が4単位または6単位になることを示す。
- 注3 表中の○で囲んだ数字は各年次における必修修の科目の単位数を示す。▼は該当年次において全員が共通に履修することを示す。※印は学校設定科目を示す。1年次では2単位分を、2年次では12～14単位分を、3年次では18～20単位分を、それぞれ各年次で選択可能な科目から選択する。
- 注4 [印は、その中から1科目を選択することを示す。→印は継続履修を示す。
- 注5 2年次に数学Ⅱを2単位履修する者は、3年次に継続履修しなければならない(★印)。3年次に数学Ⅱを履修する者は、数学Ⅲは履修できない。3年次に数学Bを履修する者は、2年次で履修済みの者に限る。
- 注6 3年次に物理を履修する者は、2年次に物理基礎を履修済みの者に限る。2年次に生物基礎を履修する者は、生物を履修することはできない。
- 注7 I、II、IIIを付した科目の履修については、履修の順序に従って履修するものとする。
- 注8 「自立活動」は、学校教育法施行規則第140条に基づき設定する障害に応じた特別の指導であり、通級による指導（自立活動）である。2、3年次において最大2単位の履修が可能である。その単位の認定については、増加単位による認定とする。
- 注9 「日本語指導」は、学校教育法施行規則第86条の2に基づく特別の指導であり、生徒の実態に応じて実施する。その単位の認定については、増加単位による認定とする。